

踏み跡 < My mountains >

奥日光	金精峠から白根山・根名草山往復後丸沼へ	No.097
-----	---------------------	--------

秋の課内親睦旅行が老神温泉と決まった。旅行の前の一日の休みを利用して奥日光へ行くことにした。



昭和42年11月2日

夕食の後浅草へ。23時15分浅草駅到着。0時発の山岳夜行電車の切符（浅草～湯元 720円）と補完食糧を買いながら雷門付近を夜の散歩。

昭和42年11月3日

日光駅で若干の仮眠時間（車内で）が与えられるこの電車、これが気に入っている。

湯元へのバスにも整然と乗車させてくれて楽チン。うつらうつらしている内にいろは坂、中宮祠、龍頭の滝を通り過ぎてしまい、海拔1500mの湯元に6時30分に到着。バス停の売店で朝食用菓子パンを買って出発。天気は申し分なし。バス通りを避けて金精沢に沿った旧道を歩くことにした。

昔はかなり苦しい思いをして越えたであろう金精峠も今はトンネルでスイと抜けられるし、山の寂しい湖と言ってもおかしくなかった菅沼と丸沼が何の苦もなく行ける場所になってしまった。

7時10分、金精沢のきれいな流れで朝食をとり、水を汲む。7時40分に出発。木の間にきらきら輝く湯ノ湖と男体山を筆頭に表尾根の山々。

金精トンネル入口（1843m）から20分の登りで

金精峠（2010m）に到着、8時20分。

金精峠からの男体山と湯ノ湖の眺めは天下一品。男体山は雲の中に首を突っ込み、湯ノ湖は小さな可愛い水面を輝かせ、からりと晴れてはいないがそれなりの味わい。

（右写真：金精峠から男体山と湯ノ湖）



峠の東側は栃木県、西側は群馬県。県境の稜線を白根山へ向かう。金精山（2244m）9時05分。天気は朝からあまりすっきりはしてはいなかったが、高度を上げるにつれて段々悪くなり、五色山（2379m）まで来ると猛烈な風と横殴りの雨。瞬間最大風速は25mぐらいあろうかという猛攻で、ポンチョの脇ボタンをとめておいても引きちぎられてしまう。休むところもないし、戻ることも進むことも大差はないので風に逆らって牛歩

踏み跡 < My mountains >

鈍行を続けることにした。

前白根(2373m)と奥白根(白根山頂上)の中間に避難小屋があるので覗いてみたら、中は濡れ鼠の登山者で満員なのであきらめて駒を進めることにした。

奥白根山頂上(2578m)11時30分。風と雨、そして時々曇、日光山地では最高峰ゆえかなり立派な景色だろうと思うが、何も見えない。しかも立っても居られないし、山頂の鳥居も霞んでよく見えない状態。

満員の避難小屋に立ち寄るのは止めて、昼食代わりのチョコレートをポケットから出して食べながら峠まで一気に下ることにした。しかし、正午をまわっており空腹この上なし。

金精峠帰着13時50分。避難小屋に入って昼食とする。昼食はパン、バター、ポタージュスープ。

今日のうち念仏平まで行き明日は湯沢峠越え、と思っていたが、だいぶ雨に叩かれてもはや戦意喪失。こんな立派な小屋があるのに泊まらないという手はない。だが、惜しいことに水場がない。トンネル入口まで下らなければ水が得られない。ポリタンクの水の残量は0.5リットルほどしかない。これもひとつの鍛錬だ、0.5リットルの水で一泊してみよう。

昼食が遅かったせいか全然腹が減っていない。小雨の切れ間にスケッチをして寝ることにする。小屋はわずかに隙間風があって涼しいので、小屋の中にツェルトを張ってシュラフイン、16時30分。

明日の行動予定は天候次第ということにする。22時 物凄い風と雨。

昭和42年11月4日

羽目板の破れ目から雨が入り込んできたらしい。足が冷たくて目が覚めた。時計を見ると2時。

4時、腹も減ったので起きる。まだ雨も風も猛烈。朝食はラーメンとパンと赤だし味噌汁。水を全部使って十分に腹ごしらえをしたらまた眠くなってきた。雨も降っていることだし、もう一度眠ることに。

6時50分再び起床。今度は素晴らしい快晴。ツェルトをたたんであわてて出発。昨晚の雨は途中から雪に変わったようで、小屋の周囲や白根山がうっすらと雪化粧している。表尾根、皇海、白根……日光連山は我が眼の中。すっかり晴れ上がり、空は抜けるような青さ。

ゆるやかに登りさらに樹林帯を越えて温泉ヶ岳を巻き、樹林帯の中の念仏平避難小屋に8時50分着。

雪解けの水が屋根から滴り落ちながらキラキラ輝く小屋の前で二度目の朝食。 (上スケッチ:温泉ヶ岳北鞍部からの日光連山)

根名草山を越えて日光沢から菅沼へ下るにはちょっと時間が足りなさそうなので、根名草山をピストンして金精峠に戻り菅沼に下るという作戦に変更。

水を汲んで出発。根名草山(2330m)10時40分。鬼怒沼から尾瀬に連なる山々、尾瀬の燧岳のドッシリし



踏 み 跡 < My mountains >

た姿が目立つ。会津の山、駒ヶ岳周辺、奥那須の山々、武尊連峰、谷川岳周辺の山々。およそ関東地方の山々はすべて見渡せる。根名草山がこんなに立派な眺望の山だとは知らなかった。

景色を楽しみながらインスタントジュースを飲んでひとときの憩い。(上写真:平ヶ岳から会津駒までずらり)

下りは秋晴れの空の下、四方の景色を楽しみながらのんびりと。温泉ヶ岳(2333m)は12時35分に通過。

金精峠に戻ると13時。昨晚の荒天とは打って変わった晴天に、何にも喻え難い景観。

急な下り道を走り抜けて菅沼の畔に13時25分に到着。バスの時刻が合わないため丸沼まで歩くことにした。バス道は昨夜の雪が凍結して、歩きにくいことこの上なし。

丸沼温泉口バス停に14時30分着。バスは16時20分発、鎌田まで130円。鎌田で乗り換えて老神温泉で会社の旅行に無事合流。

以上

(修正・更新:2023年11月)